

# 国分寺市の信州人

## 「武蔵国分寺種 赤米」の耕作について

国分寺の住民になり30余年、国指定史跡「武蔵国分寺跡」以外の宝物はないのかと思ってきましたが、有りました。平成9年（1997年）東恋ヶ窪の畑で「赤米（あかごめ）」が民俗学者・長沢利明氏によって偶然発見されたのです。長沢氏は「それは正真正銘の赤米だったのである。この時の感動を私は生涯、忘れることはないだろう」と述懐しています。そして、野生種に近い原始的稲は『武蔵国分寺種 赤米』と命名され、保存・普及の取り組みが開始されたのです。

私は平成28年の「国分寺資料館」での企画展示で知り、それをきっかけにバケツ栽培などに参加しました。その後は「わんぱく学校」での赤米耕作への参画、同時に「国分寺赤米会」の設立。そして一昨年より、国分寺史跡で第五小学校とタイアップして、70坪の圃場（陸稲）で耕作中です。

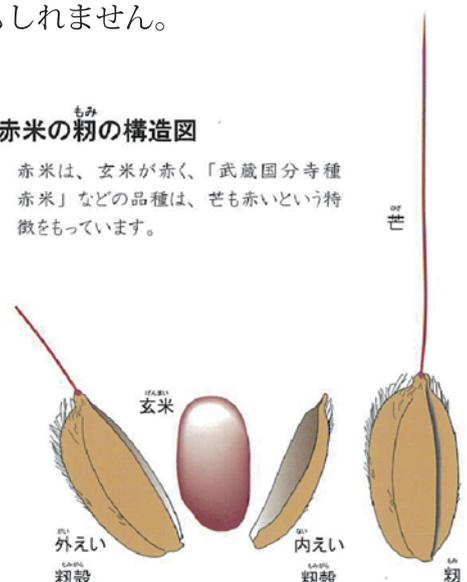
その「赤米」は草丈150～160cmと高く、芒（のぎ）が長く、ジャポニカ種の系統の稲で神社に供える神饌米として西日本の3カ所（総社市・国司神社、種子島・宝満神社、対馬・多久頭魂神社）での栽培だけが確認されているものでした。ですから農家が代々自給的な生活で引き継いで育て、残っていたのは奇跡とも言えるかもしれません。



武蔵国分寺種赤米稲が見つかった陸稲畑（東恋ヶ窪）

### 赤米の籾の構造図

赤米は、玄米が赤く、「武蔵国分寺種赤米」などの品種は、芒も赤いという特徴をもっています。



市内では私たち以外にも「赤米セミナー」「赤米プロジェクト」などが普及・保存に取り組んでいます。私は「縄文時代の古代米復活で国分寺の魅力アップを！」を合言葉に、会員 30 数名で小学生と共に耕作を継続する所存です。よろしかったら、是非ご一緒に耕作にチャレンジは如何でしょうか。

追伸) この稲を田圃で栽培をと、私の郷里に近い「辰野町（上伊那郡）」の棚田での栽培にもチャレンジしております。



## 「昔の遊び授業」のお手伝い

去る 12 月 22 日、県人会による地域貢献活動として、国分寺市立第一小学校にて「昔の遊び授業」が行われました。コロナ禍、寒波にもかかわらず県人会メンバー 11 名が参加し、羽根つき、コマ回し、お手玉、けん玉を一年生の児童 81 名と一緒に楽しみました。子供たちの多くが初めて見る遊びに熱中し、あっという間に 2 時間の授業が終了しました。



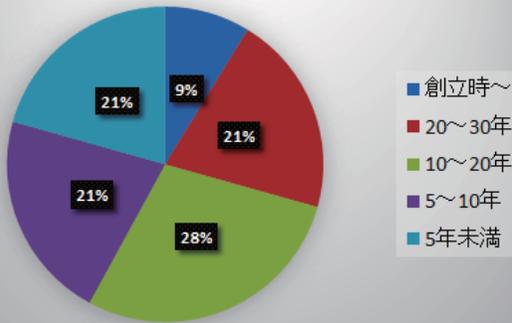
「楽しかった」「少しできるようになって嬉しかった」「またやってみたい」等々の感想発表があり、お手伝いしていただいた方々も子供たちから元気をもたらったようでした。(文責 )



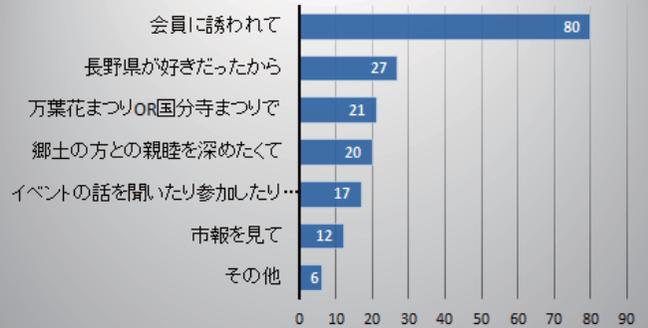
# アンケート結果を報告します

過日実施しましたアンケート調査では、会員全体の8割を超える128名（42歳から94歳まで、平均年齢77歳）の皆様から回答をいただきました。ありがとうございました。回答をグラフ集約し、一部の補足とともに報告とさせていただきます。

Q1) 入会されて何年になりますか。

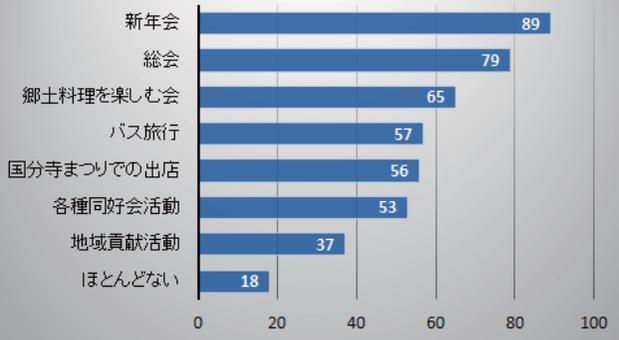


Q2) 入会されたきっかけは。

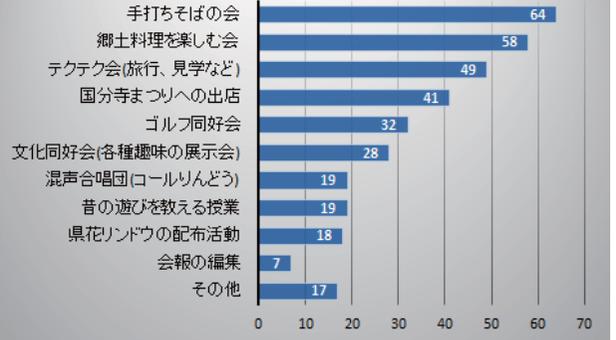


「Q4：興味のある、または参加したいと思うもの」の一番人気は「手打ちそばの会」で半数の方から回答がありました。また「その他」の17名の方から「うどんの会」の復活・継続への要望がありました。

Q3) 参加したことがある諸行事は。

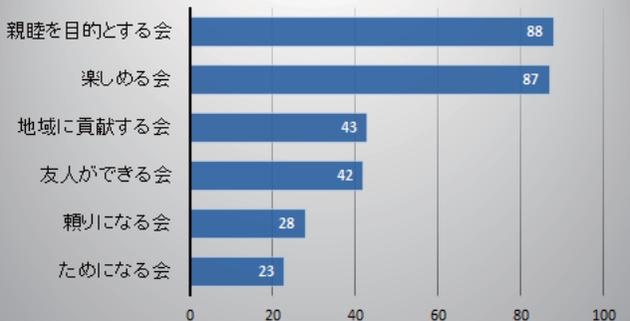


Q4) 興味のあるまたは参加したいと思うものは。

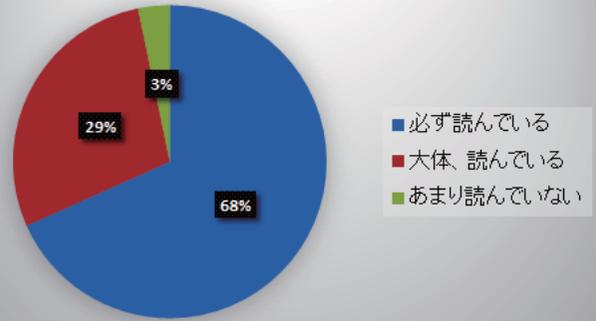


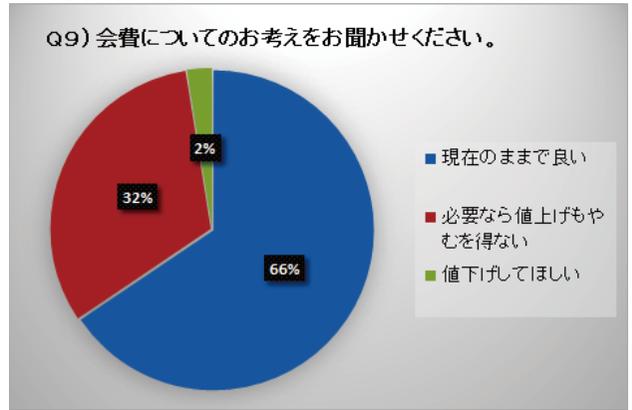
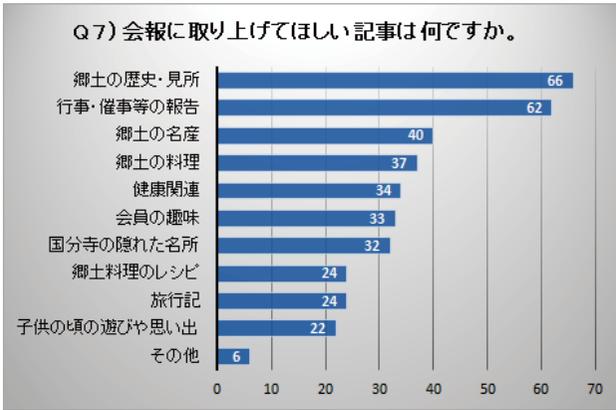
会報については7割の方が必ず読んでおり、取り上げて欲しい記事からは皆さんが幅広く広範囲に興味や関心を持たれていることがわかりました。Q8では会報に寄稿できる内容の記載をお願いしました。ありがたくも十名ほどの方から提案をいただきましたので、個別に相談させていただきたいと思えます。

Q5) どんな県人会だと良いですか。



Q6) 会報「国分寺の信州人」は読まれていますか。





Q10の県人会への意見・要望欄へは、激励・感謝の言葉などを含めて、多くの方の記入がありました。誌面の関係で具体的な意見のみ、その要点を紹介しますと、役員組織については「委員会委員と地区委員の分離、地区委員の当番制」「会長・委員長を一度全員女性で構成」との意見があり、「若手会員の勧誘」「賛助会員の募集による会員維持」など会員募集に関する意見、そして今後の活動に関しては「活動の整理縮小（例えば新年会・総会・会報発行に絞るなど）」「解散しないのであれば、組織・行事の簡素化による継続」との意見があり、「30年が経ち、その分、会員の皆さまも年を重ねられ、活動も限られた人達だけのものになっている様な気がします。今後の会の方向性について検討すべき時が来ていると思われまます」との意見は会運営の役割を担っていただいている委員の皆さんが感じているところのように思いました。

なお、アンケート回答に30周年記念行事に関する質問をするべきだったのではという意見があり“そうすればよかったなあ”と反省だった点をつけ加えさせていただきます。(文責 )



### <長寿の祝い>

1月までに長寿の祝いを迎えられた方に県人会から記念品が贈られました。(敬称略)

米寿：

喜寿：



### <新入会員紹介>

地 区	氏 名	住 所	電 話	出 身 地

### <編 集 後 記>

今年も保険会社によるサラリーマン川柳入選 100 句が発表されましたが、未だ会社勤めしているせいか「ウイルスも 上司の指示も 変異する」の一句に思わずにんまり。ウイルスが変異するのは進化して生き延びるためのようですが、赤米の種はそのまま変わらず生き延びてきたことが驚きと感動です。県人会も“変わるべきもの”と“変わらないべきもの”のバランスでしょうか。

長年、素晴らしい会報を編集してきていただいた水 さんを引継ぎ、今回号から新米・ が担当させていただきますことになりました。手ほどき、ご指導よろしくお願ひいたします。